

品質で選ばば ——
朝日フェンス

シンプルでいて高級感のあるデザイン

朝日ピケットフェンス

シリーズ
SERIES

○ 丸パイプ格子

◇ 角パイプ格子

ピ
ケ
ッ
ト

WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

<https://www.asahi-fence.co.jp>



Contents

仕様・特長 3

PW	○ 丸パイプ格子	◇ 角パイプ格子	PS	◇ 角パイプ格子	
A型	一般型	4	FC型	フラットセンター	9
	忍び返し付		KC型	剣先付センター	10
R型	柱球キャップ付	5	FB型	フラットフロント	11
F型	格子球キャップ付	6	KB型	剣先付フロント	12
M型	格子トップ山型	7			
V型	角パイプ格子	8			

バリエーション

門扉 引戸 13

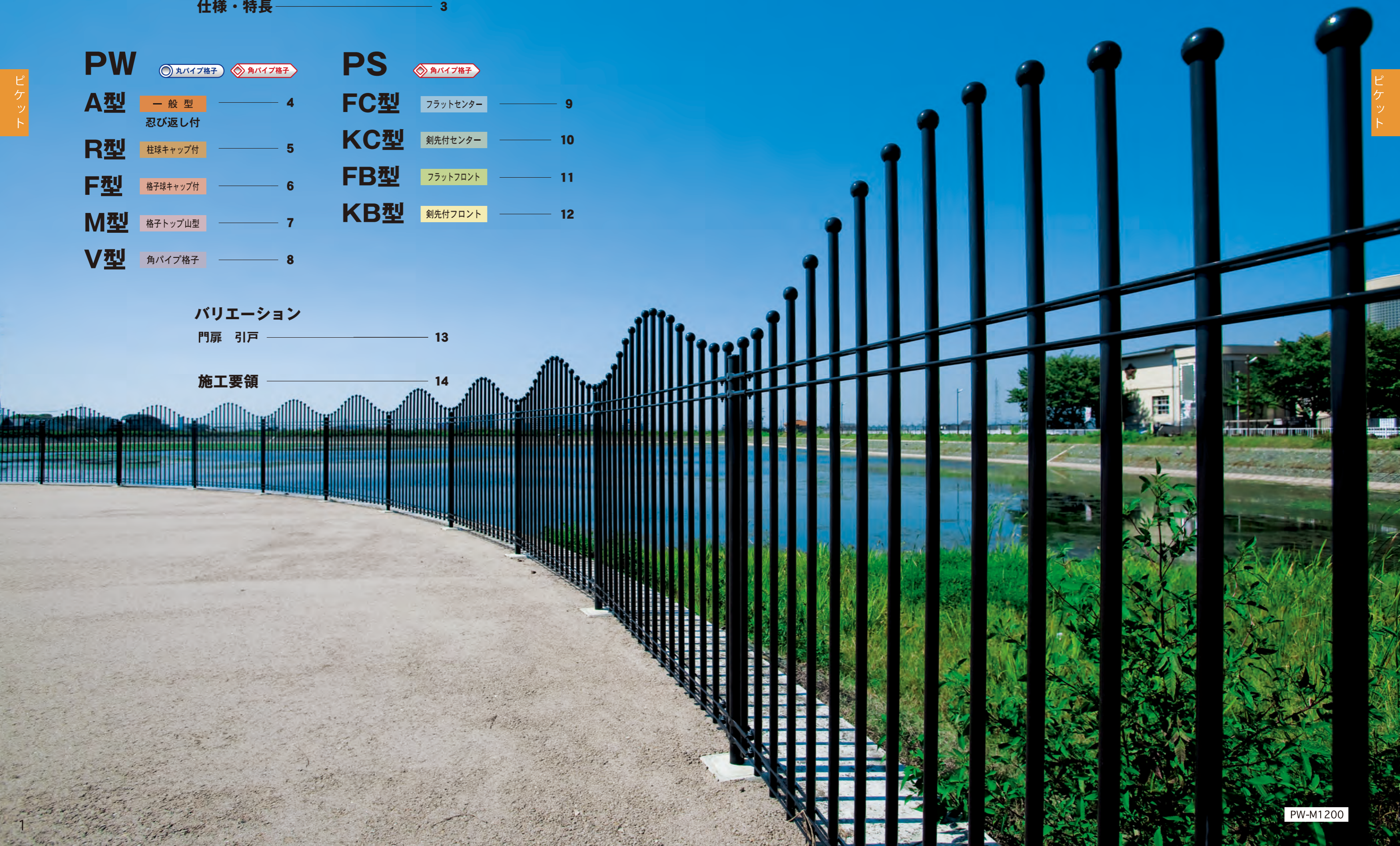
施工要領 14

朝日ピケットフェンス^{シリーズ} SERIES は

住宅の外構や公園等にフィットする全く新しいタイプの格子フェンス。
洗練されたシンプルで開放的なフォルムが
空間をおしゃれにコーディネートします。

ピ
ケ
ッ
ト

ピ
ケ
ッ
ト



シンプルで開放的ながら、高級感あふれるデザイン

ピケットフェンスシリーズはシンプルで開放的なデザインの格子フェンス。多様な景観にマッチし、おしゃれな空間を演出する高級感も兼ね備えています。また仕上がり形状は内、外どちらから見ても同じで設計も容易。マンションや住宅等の外構や、公園等のアメニティスペースにぴったりのデザイン格子フェンスです。角パイプ格子を使用し、さらに高級感を増したPSシリーズもラインナップ。選択の幅が広がりました。

秀でた耐震性

コンクリートブロックべいと比べて軽量で、倒壊しにくい構造です。地震等の災害時、高い安全性を確保します。

下地に「高耐食性めっき鋼板」ZAM®、SuperDyma® を使用

(亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき鋼板)

素材そのものに強力な防錆力を持たせているため、耐震性にすぐれています。

材質・塗装

部 材 名	材 質	下 地 処 理 ・ 塗 装
主 柱	丸	STK400
	角	STKM14A準拠 STKR400
パネ ル	丸	STK400
	角	STKM14A準拠
	線 材	SWMGS-3
	胴 縁	SGMH400準拠
部 品	SGMHC準拠 SGMH400準拠	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき[付着量両面275g/m ² 以上] + 高耐食性樹脂粉体塗装[平均50μm以上]
ボルト・ナット	ボルト4.8・ナット5	亜鉛めっき

※「ZAM」、「SuperDyma」は、日本製鉄株式会社の登録商標です。
※「高耐食性めっき鋼板」は、日本産業規格JIS G3323 (溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯) に準拠する材料です。

組立が簡単

洗練されたデザインゆえのシンプルな構造。だから複雑な部分がなく、組立・施工が容易です。
(巻末<施工要領>を参照ください。)

強度試験 (弊社テストによる)

JIS A6513 (金属製格子フェンス及び門扉) の強度基準の鉛直 (1470N [150kgf]) ・ 水平 (高さ1000mm以下は392N [40kgf]、高さ1000mm越え1800mm以下は490N [50kgf]) 荷重試験をクリアしています。

風圧力での設計製品

昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。

カラー

標準色



受注生産色



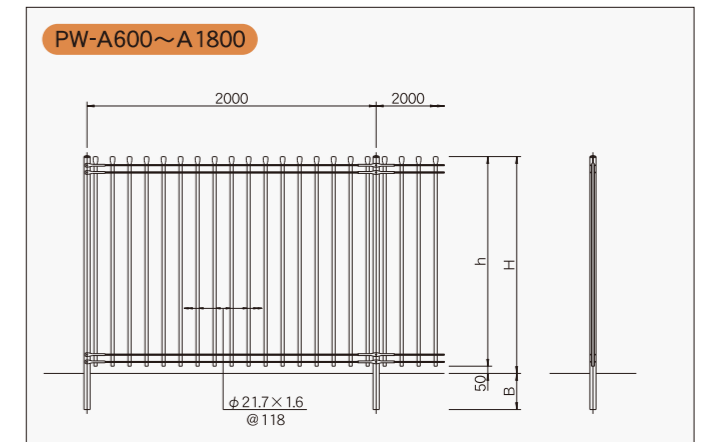
※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。



PW-A1200



PW-A1800忍び返し付(曲型)

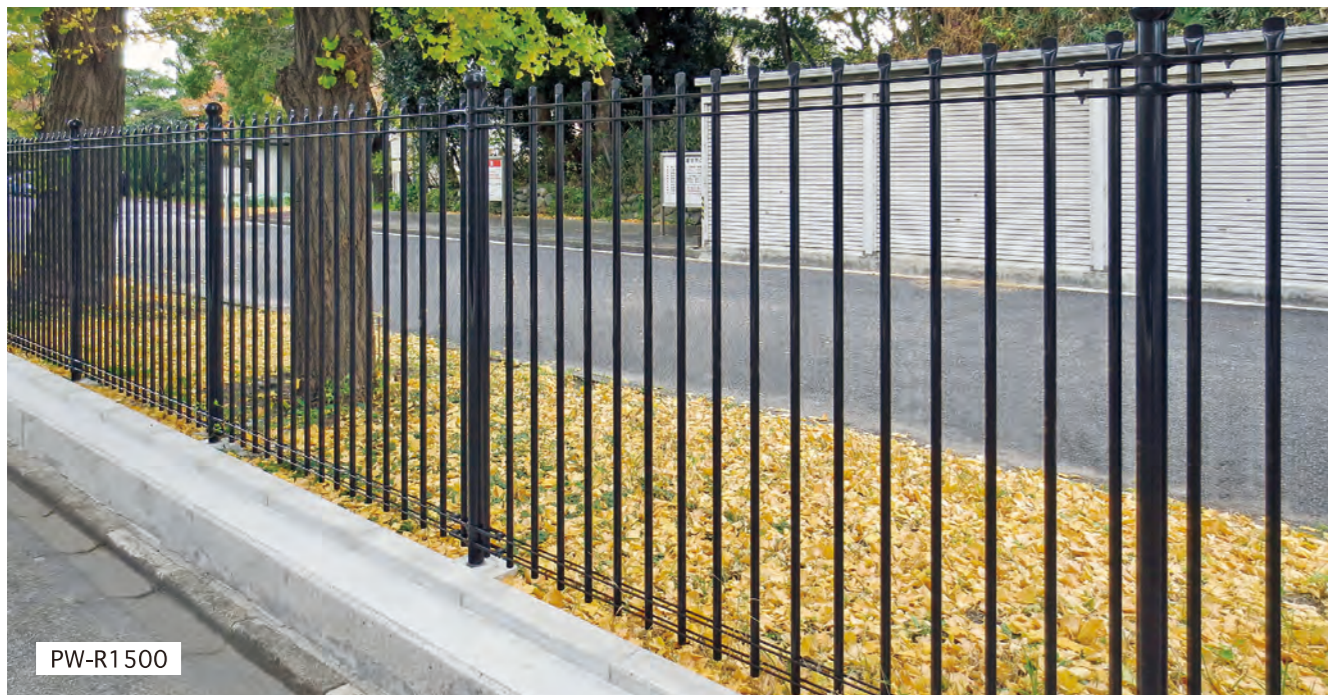


※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼 称	寸 法	高 さ (mm) (H)	主 柱 (mm)			パネ ル (mm)		単 位 質 量 (kg/m)	参 考 基 礎 寸 法 (mm)
			規 格	全 長	埋 込 (B)	格 子 規 格	パネ ル 幅 (h)		
PW-A 600		600	φ42.7×2.3	750	150	φ21.7×1.6	550	6.5	180×180×450
PW-A 900		900	φ42.7×2.3	1050	150	φ21.7×1.6	850	8.8	180×180×450
PW-A1000		1000	φ42.7×2.3	1150	150	φ21.7×1.6	950	9.5	180×180×450
PW-A1200		1200	φ42.7×2.3	1350	150	φ21.7×1.6	1150	11.1	180×180×450
PW-A1500		1500	φ42.7×2.3	1750	250	φ21.7×1.6	1450	13.9	200×200×450
PW-A1800		1800	φ50.8×2.3	2100	300	φ21.7×1.6	1750	16.9	250×250×450
PW-A1800 忍び返し付(曲型)		1800+450	φ50.8×2.3	2100	300	φ21.7×1.6	2200	20.4	300×300×500

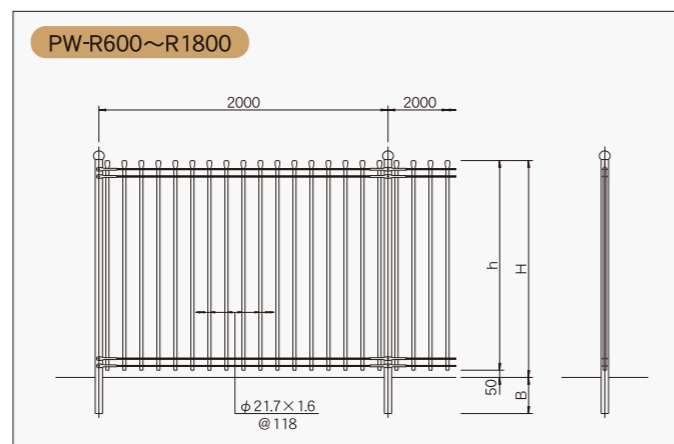
※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
※地耐力98kN/m² [10t/m²] (長期) の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
※ブロックべいに建込む場合は、主柱径φ42.7は10cm以上、φ50.8は12cm以上を使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないように、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
※忍び返し付は勾配は製作できません。忍び返し付の詳細については別刷標準図集を参照ください。
※ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。



PW-R1500



PW-R1200

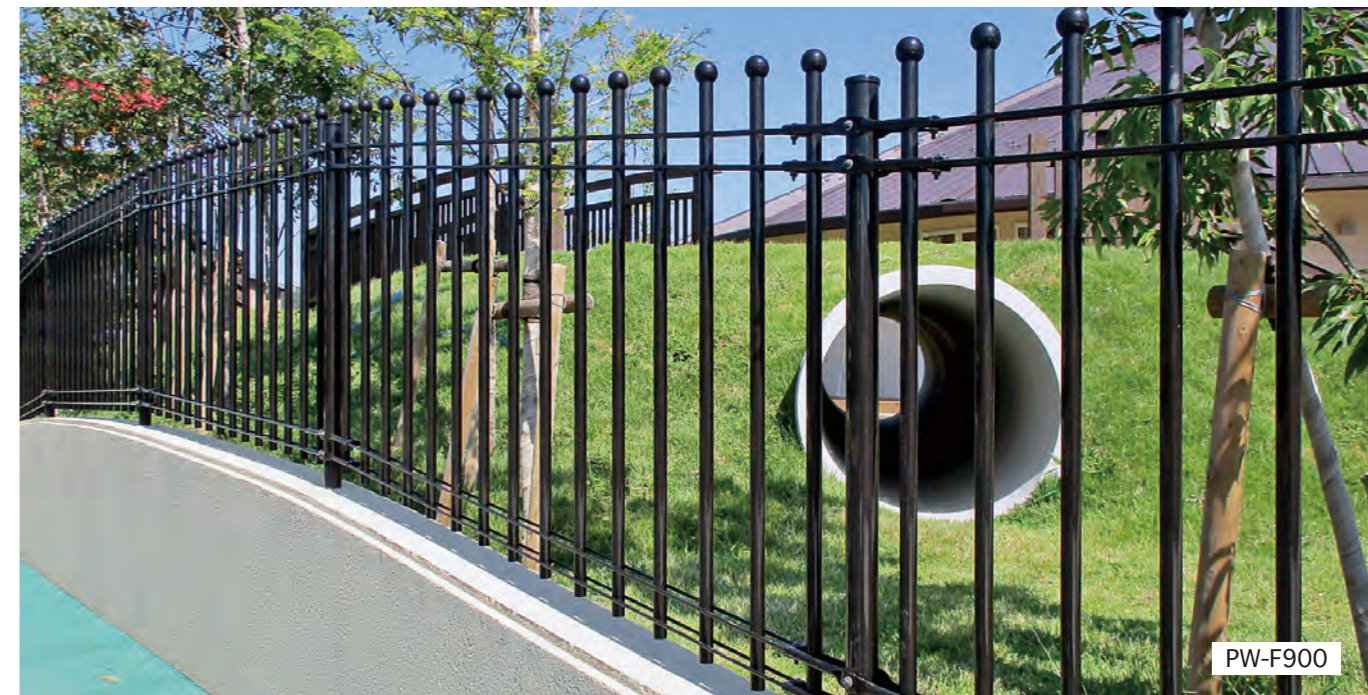


※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼称	寸法	高さ(mm) (H)	主 柱(mm)			パ ネ ル(mm)		単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規 格	全 長	埋込(B)	格子規格	パネル幅(h)		
PW-R 600		600	$\phi 50.8 \times 1.6$	867	200	$\phi 21.7 \times 1.6$	550	6.9	180×180×450
PW-R 900		900	$\phi 50.8 \times 1.6$	1167	200	$\phi 21.7 \times 1.6$	850	9.2	180×180×450
PW-R1000		1000	$\phi 50.8 \times 1.6$	1267	200	$\phi 21.7 \times 1.6$	950	9.9	180×180×450
PW-R1200		1200	$\phi 50.8 \times 1.6$	1467	200	$\phi 21.7 \times 1.6$	1150	11.5	180×180×450
PW-R1500		1500	$\phi 50.8 \times 2.3$	1817	250	$\phi 21.7 \times 1.6$	1450	14.6	200×200×450
PW-R1800		1800	$\phi 50.8 \times 2.3$	2167	300	$\phi 21.7 \times 1.6$	1750	17.1	250×250×450

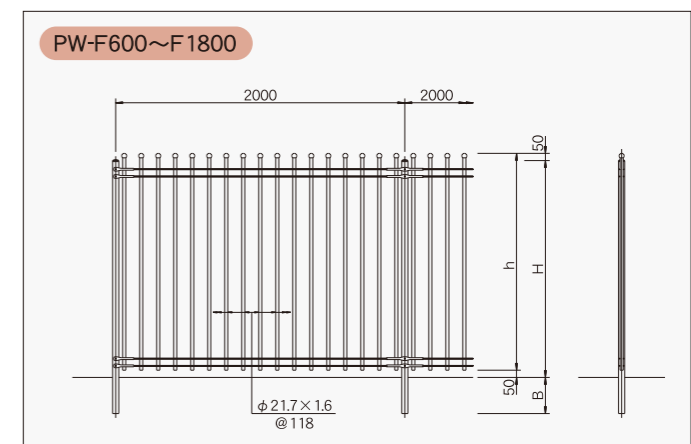
※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
 ※地耐力98kN/m² [10t/m²] (長期) の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
 ※ブロックべいに建込む場合は、12cm以上のものを使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないよう、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
 ※ご使用前に裏表紙の『▲ 注意』の項目をご覧ください。



PW-F900



PW-F1200



※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼称	寸法	高さ(mm) (H)	主 柱(mm)			パ ネ ル(mm)		単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規 格	全 長	埋込(B)	格子規格	パネル幅(h)		
PW-F 600		600	$\phi 42.7 \times 2.3$	750	150	$\phi 21.7 \times 1.6$	600	7.8	180×180×450
PW-F 900		900	$\phi 42.7 \times 2.3$	1050	150	$\phi 21.7 \times 1.6$	900	10.1	180×180×450
PW-F1200		1200	$\phi 42.7 \times 2.3$	1350	150	$\phi 21.7 \times 1.6$	1200	12.4	180×180×450
PW-F1500		1500	$\phi 42.7 \times 2.3$	1750	250	$\phi 21.7 \times 1.6$	1500	15.2	200×200×450
PW-F1800		1800	$\phi 50.8 \times 2.3$	2100	300	$\phi 21.7 \times 1.6$	1800	18.2	250×250×450

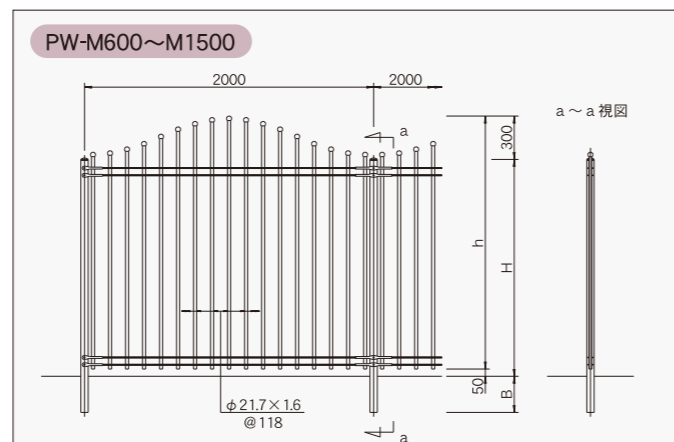
※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
 ※地耐力98kN/m² [10t/m²] (長期) の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
 ※ブロックべいに建込む場合は、主柱径 $\phi 42.7$ は10cm以上、 $\phi 50.8$ は12cm以上を使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないよう、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
 ※ご使用前に裏表紙の『▲ 注意』の項目をご覧ください。



PW-M1200



PW-M1200

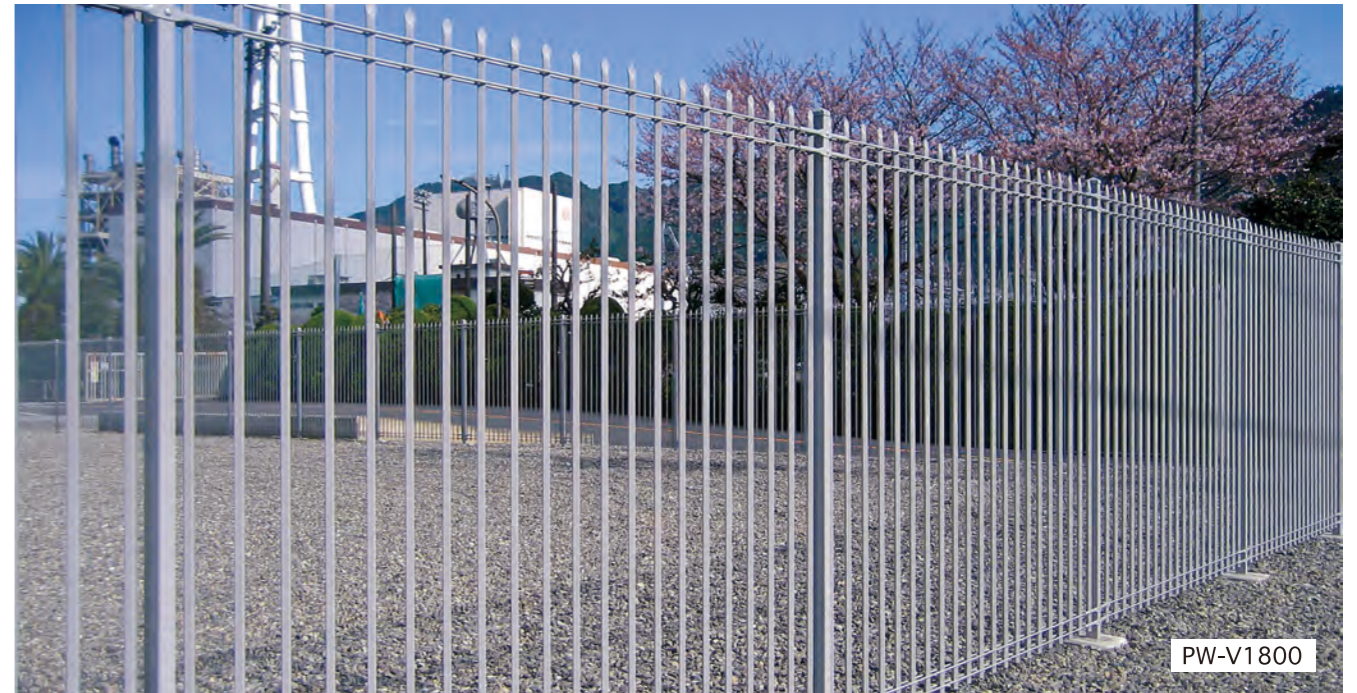


※15m未満の端尺スパンの場合はF型パネルを使用します。
※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼称	寸法	高さ(mm) (H)	主 柱(mm)			パ ネ ル(mm)		単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規 格	全 長	埋込(B)	格子規格	パネル幅(h)		
PW-M 600		600	φ42.7×2.3	750	150	φ21.7×1.6	850	8.7	180×180×450
PW-M 900		900	φ42.7×2.3	1050	150	φ21.7×1.6	1150	11.0	180×180×450
PW-M1200		1200	φ42.7×2.3	1350	150	φ21.7×1.6	1450	13.7	200×200×450
PW-M1500		1500	φ50.8×2.3	1750	250	φ21.7×1.6	1750	16.6	250×250×450

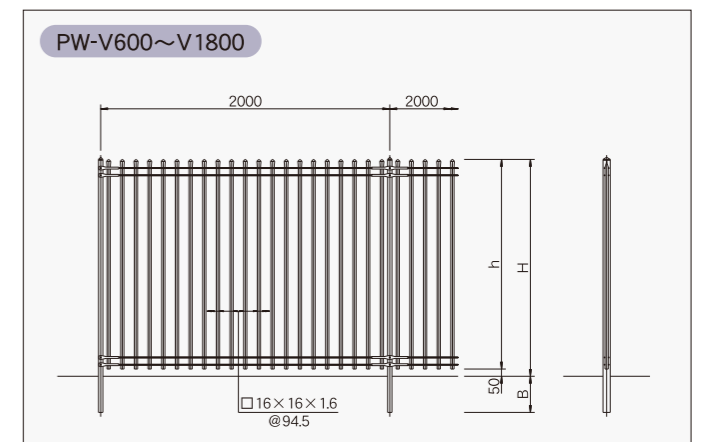
※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
※地耐力98kN/m² [10t/m²] (長期) の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
※ブロックべいに建込む場合は、主柱径φ42.7は10cm以上、φ50.8は12cm以上を使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないように、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
※**ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。**



PW-V1800



PW-V900(特別色)

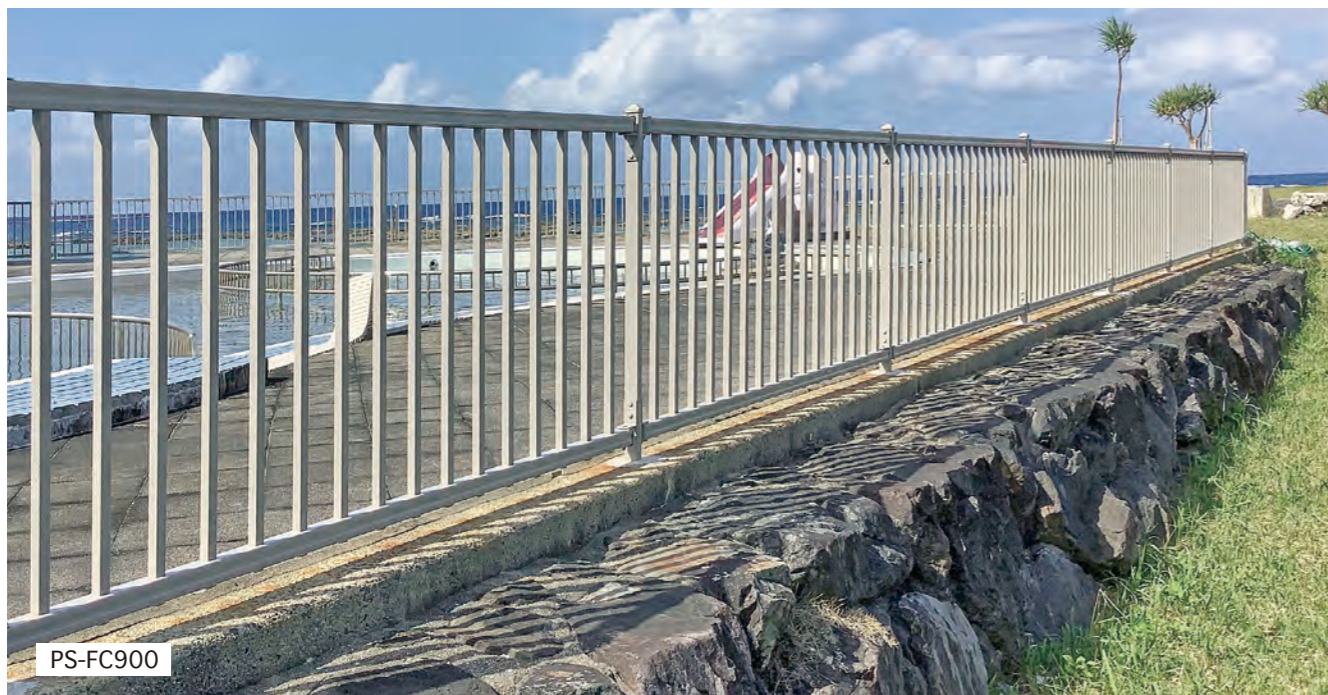


※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼称	寸法	高さ(mm) (H)	主 柱(mm)			パ ネ ル(mm)		単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規 格	全 長	埋込(B)	格子規格	パネル幅(h)		
PW-V 600		600	□40×25×2.3	750	150	□16×16×1.6	550	7.7	180×180×450
PW-V 900		900	□40×25×2.3	1050	150	□16×16×1.6	850	10.5	180×180×450
PW-V1200		1200	□40×25×2.3	1350	150	□16×16×1.6	1150	13.3	180×180×450
PW-V1500		1500	□50×30×2.3	1750	250	□16×16×1.6	1450	16.5	200×200×450
PW-V1800		1800	□50×30×2.3	2100	300	□16×16×1.6	1750	19.4	250×250×500

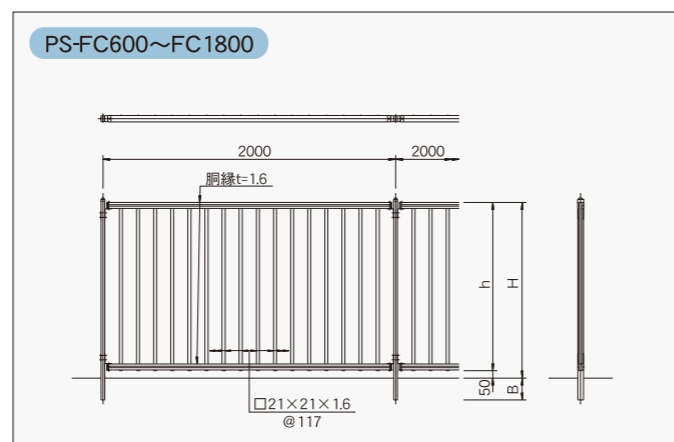
※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
※地耐力98kN/m² [10t/m²] (長期) の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
※ブロックべいに建込む場合は、主柱□40×25は10cm以上、□50×30は12cm以上を使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないように、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
※**ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。**



PS-FC900



PS-FC1200 (特別色)



※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼称	寸法	高さ(mm) (H)	主 柱(mm)			パ ネ ル(mm)		単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規 格	全 長	埋込(B)	格子規格	パネル幅(h)		
PS-FC 600		600	□40×25×2.3	770	150	□21×21×1.6	550	10.0	180×180×450
PS-FC 900		900	□40×25×2.3	1070	150	□21×21×1.6	850	12.9	180×180×450
PS-FC1200		1200	□40×25×2.3	1370	150	□21×21×1.6	1150	15.8	180×180×450
PS-FC1500		1500	□50×30×2.3	1770	250	□21×21×1.6	1450	19.4	200×200×450
PS-FC1800		1800	□50×30×2.3	2120	300	□21×21×1.6	1750	22.4	250×250×450

※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
 ※地耐力98kN/m² [10t/m²] (長期) の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
 ※ブロックべいに建込む場合は、主柱□40×25は10cm以上、□50×30は12cm以上を使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないように、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
 ※ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。

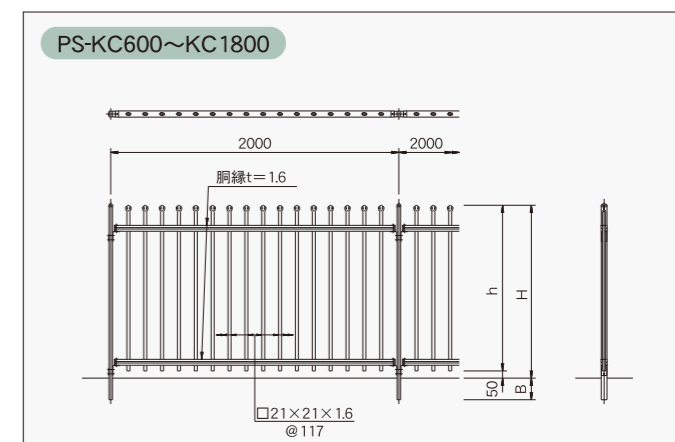


PS-KC1800



PS-KC両開き門扉 H1800×W4000剣先付(オプション)

オプションとしてデザイン剣先を取り付けることができます。(p.12に拡大写真)



※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

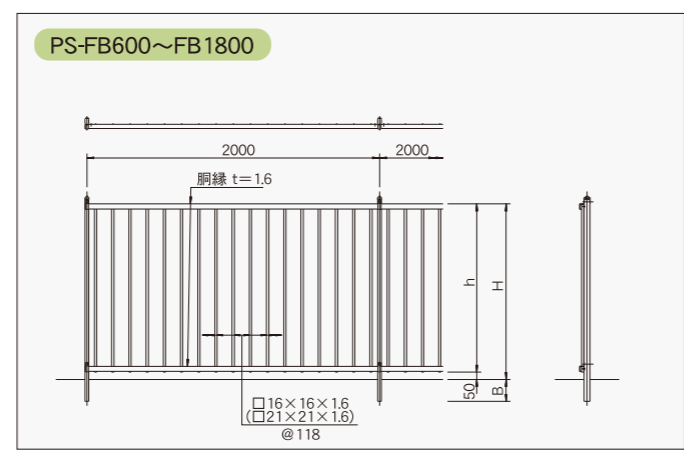
規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼称	寸法	高さ(mm) (H)	主 柱(mm)			パ ネ ル(mm)		単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
			規 格	全 長	埋込(B)	格子規格	パネル幅(h)		
PS-KC 600		600	□40×25×2.3	750	150	□21×21×1.6	550	9.8	180×180×450
PS-KC 900		900	□40×25×2.3	1050	150	□21×21×1.6	850	12.7	180×180×450
PS-KC1200		1200	□40×25×2.3	1350	150	□21×21×1.6	1150	15.6	180×180×450
PS-KC1500		1500	□50×30×2.3	1750	250	□21×21×1.6	1450	19.2	200×200×450
PS-KC1800		1800	□50×30×2.3	2100	300	□21×21×1.6	1750	22.2	250×250×450

※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
 ※地耐力98kN/m² [10t/m²] (長期) の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
 ※ブロックべいに建込む場合は、主柱□40×25は10cm以上、□50×30は12cm以上を使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないように、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
 ※ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。



PS-FB1500



※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼称	寸法 高さ(mm) (H)	主 柱(mm)			パ ネ ル(mm)		単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
		規 格	全 長	埋込(B)	格子規格	パネル幅(h)		
PS-FB 600	600	□40×25×2.3	790	150	□16×16×1.6	550	7.9	180×180×450
PS-FB 900	900	□40×25×2.3	1090	150	□16×16×1.6	850	10.4	180×180×450
PS-FB1200	1200	□40×25×2.3	1390	150	□16×16×1.6	1150	12.8	180×180×450
PS-FB1500	1500	□50×30×2.3	1790	250	□16×16×1.6	1450	15.8	200×200×450
PS-FB1800	1800	□50×30×2.3	2140	300	□21×21×1.6	1750	22.3	250×250×450

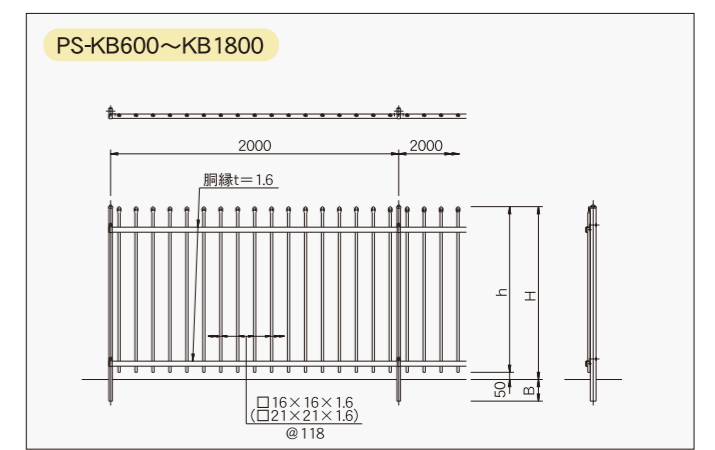
※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
 ※地耐力98kN/m²[10t/m²](長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
 ※ブロックべいに建込む場合は、主柱□40×25は10cm以上、□50×30は12cm以上を使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないように、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
 ※ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。



PS-KB1800



オプション(デザイン剣先)
 オプションとしてデザイン剣先を取り付けできます。
 ※格子規格□21×21×1.6のみの対応です。(φ10にPS-KC取付写真掲載)
 ※PS-KBはKB1800のみの対応です。



※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。

規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

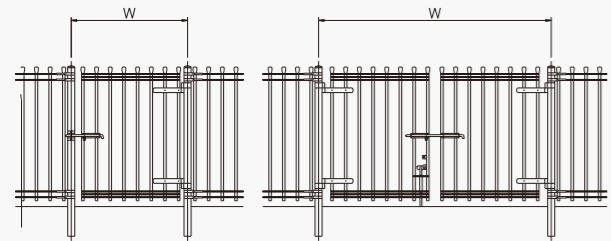
呼称	寸法 高さ(mm) (H)	主 柱(mm)			パ ネ ル(mm)		単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)
		規 格	全 長	埋込(B)	格子規格	パネル幅(h)		
PS-KB 600	600	□40×25×2.3	750	150	□16×16×1.6	550	7.7	180×180×450
PS-KB 900	900	□40×25×2.3	1050	150	□16×16×1.6	850	10.2	180×180×450
PS-KB1200	1200	□40×25×2.3	1350	150	□16×16×1.6	1150	12.6	180×180×450
PS-KB1500	1500	□50×30×2.3	1750	250	□16×16×1.6	1450	15.6	200×200×450
PS-KB1800	1800	□50×30×2.3	2100	300	□21×21×1.6	1750	22.1	250×250×450

※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)
 ※地耐力98kN/m²[10t/m²](長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。
 ※ブロックべいに建込む場合は、主柱□40×25は10cm以上、□50×30は12cm以上を使用してください。主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないように、また基礎としての強度も十分にご検証ください。(門扉は別途)
 ※ご使用前に裏表紙の『注意』の項目をご覧ください。

門扉

PW型

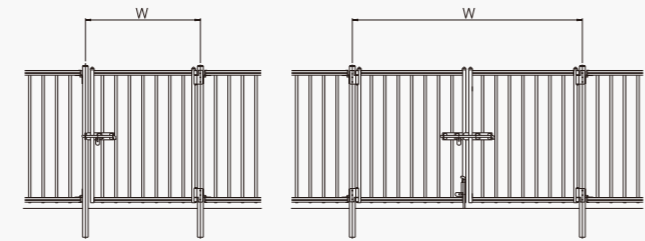
片開き 標準開き幅 W900・1000 両開き 標準開き幅 W1800・2000



※PW-A型用門扉の参考図です。各型式(R型・F型・M型・V型)の門扉については別刷標準図集を参照ください。
 ※施錠部の遊びにより、閉時でも門扉は若干前後に動きます。
 ※参考基礎寸法は、価格表を参照ください。
 ※大型門扉も製作できます。お問い合わせください。

PS型

片開き 標準開き幅 W900・1000 両開き 標準開き幅 W1800・2000

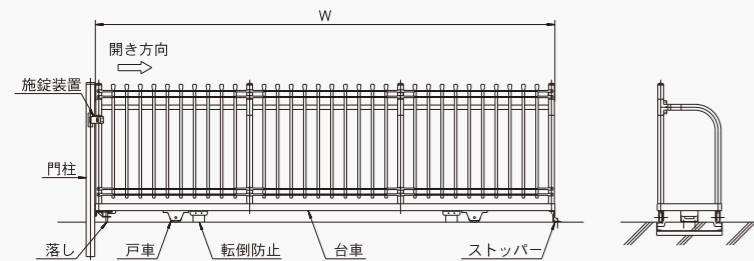


※PS-FC型(FB型共通)用門扉の参考図です。PS-KC型(KB型共通)の門扉については別刷標準図集を参照ください。
 ※施錠部の遊びにより、閉時でも門扉は若干前後に動きます。
 ※参考基礎寸法は、価格表を参照ください。
 ※大型門扉も製作できます。お問い合わせください。

引戸

PW型

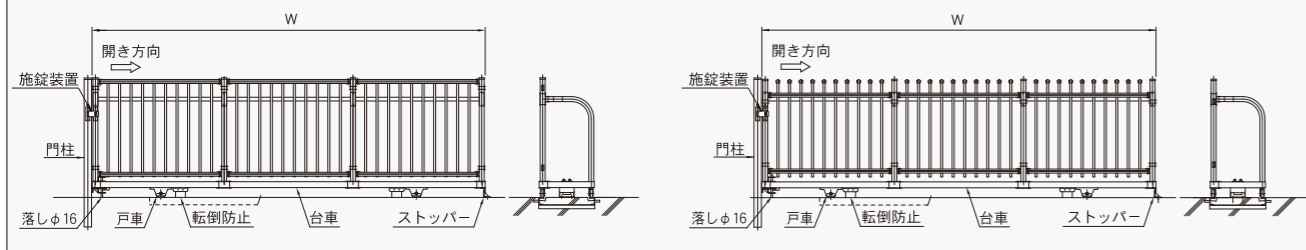
片開き 標準開き幅 W4000・5000



PW片開き引戸A型 H1200

PS型

片開き 標準開き幅 W4000・5000



※PW-A型・R型・F型・M型・V型、PS-FC型(FB型共通)・KC型(KB型共通)について製作できます。お問い合わせください。
 ※片開きW6000、両開きについては別刷標準図集を参照ください。
 ※門柱不要の場合はお問い合わせください。
 ※門柱を設けない場合、施錠は内側の落しで行います。
 ※レールはさび止め塗装仕上げです。特注品として溶融亜鉛めっき仕上げも製作できます。

※参考基礎寸法は、価格表を参照ください。
 ※詳細については別刷標準図集を参照ください。

引戸使用上の注意

- 引戸使用の際には必ず転倒防止金具の取り付けを確実にし、転倒防止効果を確認してください。
- 引戸用レール溝には必ず排水溝を設け、適宜点検し、溝内の土砂・ゴミ等を取り除いてください。水や土砂等がたまった状態ではレールが早くさびたり、凍結等により引戸が正常に作動しなくなる等の恐れがあります。
- 閉鎖時には必ず落し棒にて引戸本体を固定してください。
- 引戸に看板・防風シート等、空気抵抗が生じるものを取り付けしないでください。
- その他不明な点はお問い合わせください。

機能を十分に発揮するために正確な施工を行ってください。

※各部詳細、部品は別刷標準図集を参照ください。また、ご不明な点はお問い合わせください。
 ※矯正の際は必ずゴムハンマーを使用するか、当木をして叩いてください。
 ※施工時、製品は直接地面に置かないで敷物を施してください。

施工要領

ピケットフェンス SERIES

1 基礎・埋込み穴

主柱埋込み穴間隔は各形式・規格とも芯々2000mm、穴の大きさはφ80～φ100に正確にあけます。(穴間隔、穴の大きさ、深さ等のチェック)

2 柱の建込み

埋込み穴の中心に建込みます。その際ジョイント取り付けボルト穴の方向に十分注意します。(下図参照)

PW型 (A・R・F・M・V型に共通)

※末端・中間柱はフェンスの延長方向に対して直角方向
 ※コーナー柱はコーナー角の二等分方向

PS-FC・KC型 (センタータイプ)

※末端・中間柱はフェンスの延長方向
 ※コーナー柱はコーナー角の二等分方向
 ※勾配コーナー柱は末端柱にて柱2本建てとなります。
 パネルのラインがそろそろように柱を配置してください。
 Aの寸法については、パネル(2mスパン以内)が設置できる寸法としてください。尚、基礎の設置状況によってはコーナー部でパネルのラインがそろわない可能性もあります。
 詳細については部材と同送の施工要領書を参照ください。

PS-FB・KB型 (フロントタイプ)

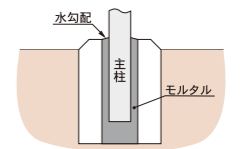
※末端・中間柱はフェンスの延長方向に対して直角方向
 ※コーナー部(変化点)には柱は配置されません。
 Bの寸法については、パネル(2mスパン以内)が設置できる寸法としてください。
 詳細については部材と同送の施工要領書を参照ください。

3 モルタル詰

水平・通りを正して、モルタル詰めを行い、水勾配をつけてください。

注意

基礎のスリーブは必ず取り除き、モルタルを充てんしてください。砂・空ねり等では柱の強度が保てません。



4 端尺スパン加工

端尺スパンに合わせて横線および胴線を切断し、切断面には補修塗りを行います。PS型はボルト穴を開けます。(PW-M型については、別刷標準図集の姿図を参照ください。)

5 格子パネルの取り付け

PW型

1. パネルを柱の間に配置します。
2. ジョイントを両側より柱とパネルの横線をはさむようにかぶせ、先にパネル側でジョイントどうしをボルトで止めます。
3. パネルとジョイントを柱穴位置まで持ち上げて、柱とジョイントをボルトで貫通止めを行います。

A・R・F・M型

V型

PS-FC・KC型 (センタータイプ)

1. 柱とジョイントをボルトで貫通止めします。
2. ジョイントの上にパネルを仮置きしボルトで仮止めします。
3. 柱とパネルの隙間や、通り等を確認し本締めします。

※上図はPS-FC型の取付図です。PS-KC型についても同様です。

PS-FB・KB型 (フロントタイプ)

1. パネル胴線に端部金具および接続金具をセットし、ボルトで仮止めしておきます。
2. 柱にパネルをジョイントにて取り付け、ボルトで仮止めします。
3. 次のスパンのパネル胴線の片側(接続側と反対側)に接続金具をセットしておきます。
4. 柱に取り付けたパネルの接続金具に次のスパンの胴線を差し込み、同様に取り付けます。
5. 柱とパネルの位置を調整したうえで接続部とジョイント部のボルトを本締めします。

※上図はPS-FB型の取付図です。PS-KB型についても同様です。

6 チェック

全スパンの組み立て完了後、前後左右の振れ、水平・通りを正してボルト・ナットの締め付けを点検し、塗装面のはく離部分があれば補修塗り等を行います。

⚠ 注意

- 弊社の一般タイプのフェンス製品は、強度について配慮の上、設計・製造しておりますが、原則として平地での困障としての使用を目的とした製品です。この目的以外での使用は思わぬ事故につながる可能性があります。
- 屋上・高台・その他強風地域で使用しないでください。(必要に応じた強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。)
- フェンスに看板・防風ネット・つた・その他空気抵抗が生じるものを取り付けしないでください。(必要に応じた強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。)
- 積雪地域での使用の場合は、積雪の状況に応じた強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。
- 手すり・ガードフェンス・転落防止柵・その他特別な強度を必要とする目的に使用する場合には、別途製品を用意しております。
- 使用環境により品質劣化が進みやすくなりますのでご注意ください。設置場所環境(公害・塩害・水害等)を調査の上、仕様を決定してください。
- 腐食性ガス・海水・砂塵にさらされるような環境では、短期間のうちに使用に耐えない状態になることがあります。
- フェンス柱地際の処理はモルタル充てんを十分にし、基礎天端に水切り勾配を必ず付けてください。また基礎天端が土中に埋まる場合にはコンクリートで保護し水切り勾配を付けるか、弊社指定の保護テープを巻いて土との接触がないようにしてください。地際に水が溜まったり、柱が土と直接接触した状態では、めっきや塗装が早期に侵されます。(基礎天端が土中に埋まる場合には強度検討を致しますので弊社までご相談ください。)
- 弊社製品に関するご不明点の確認・ご相談等に関しましては、各地区の弊社営業担当者が対応させていただきます。何なりとお問い合わせください。

[製造品目]

ユニフェンス	アルフェンス	FMフェンス	ピケットフェンス
エバニューフェンス	目かくしフェンス	遮音フェンス	PCフェンス
バックネット	防球窓枠フェンス	S・P防球フェンス	ガードパイプ
ガードフェンス	格子フェンス	カーस्टップ	メッシュトレリス
ユニトレリス	チェーンフェンス	ガーデンフェンス	ゴミ・ステーション
手すり	積雪地用フェンス	ストーンガード	防風防雪柵
高らんパイプ	歩鋼板	門扉・引戸	鉄網設計製品

WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

お問い合わせ、ご相談は下記までお願いいたします。

本 社	☎(087)833-5151(代)	〒760-8529 高松市花園町1丁目2番29号
四国営業部直通	(第1課) ☎(087)835-8730 FAX(087)835-8720 (第2課) ☎(087)835-8700 FAX(087)835-8720	
中国営業部直通	(第1課) ☎(087)835-8820 FAX(087)835-8835 (第2課) ☎(087)835-8850 FAX(087)835-8835	
東 京 支 社	(第1営業部) ☎(03)3239-4815 FAX(03)3239-4720 (第2営業部) ☎(03)3239-4818 FAX(03)3239-4720 (第3営業部) ☎(03)3239-4840 FAX(03)3239-4460	〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6(あいおいニッセイ同和損保二番町ビル)
大 阪 支 店	(第1営業部) ☎(06)6244-1910 FAX(06)6244-1911 (第2営業部) ☎(06)6244-1920 FAX(06)6244-1921 (第3営業部) ☎(06)6244-1950 FAX(06)6244-1951	〒541-0057 大阪府中央区北久宝寺町3-5-12(御堂筋本町アーバンビル)
九 州 支 店	(第1営業部) ☎(092)471-7621 FAX(092)471-7623 (第2営業部) ☎(092)471-7622 FAX(092)471-7624	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-1(日本生命博多南ビル)
名古屋営業所	☎(052)932-3500 FAX(052)932-3510	〒461-0001 名古屋市東区泉2-27-14(関電不動産高岳ビル)
仙台営業所	☎(022)263-1790 FAX(022)263-1791	〒980-0021 仙台市青葉区中央3-2-1(青葉通プラザ)
工 場		多度津・西港・丸亀・高南・香東・坂出